



けやき

富士宮市立富丘小学校
令和6年度 10月号

夢を持ち、共に学び続ける富丘の子

け：げんきな子 や：やさしい子 き：きいて伝える子

学校経営目標

思いやりをもって、伝え合い、高め合って笑顔になる学校づくり
～誰一人取り残さない教育 Well-beingの実現～



自分にできることを考えて精一杯やってみよう

校長 植松 宗一郎

気温が下がってきて毎日が過ごしやすくなってきました。このさわやかな季節になった今、様々なことを集中してできると思います。読書、勉強、スポーツなど自分が今取り組んでいることをまずは精一杯行ってほしいと思います。もしできたら特に高学年はもう一歩できることに挑戦してほしいです。

○ピーターラビットとボランティア活動

英国のピーターラビットから、ボランティア活動を思い浮かべる人が多いそうです。それは、作者ビアトリクス・ポターさんがボランティア活動に熱心だったそうで、大好きだった英国の湖水地方の自然保護運動をしていたそうです。歴史的建築物や自然保護を目的として英国において始まったナショナルトラスト運動を始めたそうです。現在、湖水地方は世界遺産に登録されています。

○自発的に行動する人になりたい

石川県能登市では、今、大雨による大きな被害が出ています。お正月に大きな地震があり復興を始めていたところでした。その復興のため災害ボランティアの方々が活動していて現地の人が「本当に助かる」と答えているのをニュースで見ることがあります。皆さんは今はお家の人のお陰で学校に来て勉強できたり、友達と過ごしたりすることができています。大人になって可能ならそのようなボランティア活動に参加してみてもいいかもしれません。

それでは、今自分にできるもう一歩は何でしょう。朝早く登校して学校の外掃除をしてくれている立派な高学年の人たちがいます。みんなが学校で過ごしやすいうように学校をきれいにしてくれています。

学年によっても、できることは違ってきます。低学年の皆さんはまず自分のことをひとりでできるようになることがとても大切です。高学年の皆さんは、4年生後半から委員会活動が始まり、みんなのためになることをしてくれています。

さらに、人のためになることは何かを自分で考えて実行してみましよう。授業、読書、習い事、スポーツなど自分ためになること、今取り組んでいることを一生懸命行うことがまず大切だと思います。しかし、これからはさらに、学級で、委員会で、授業で、休み時間にみんなが気持ちよく過ごせ、みんなが笑顔になることに取り組んでほしいと願っています。

2学期も頑張る！！ 富丘の子

各学年が様々な見学や講話、体験を通して学んでいます



新学期が始まり、学校では、様々な学習活動を行っています。生活科では、1年生はヤギとのふれあい、2年生は公共施設の学習で富丘交流センターの見学、けやき学習では、3年生のやきそば学会の方や農家の方の話、4年生は福祉学習のため福祉会館での見学、社会科では、5年生はジャトコの協力で工場見学、6年生は室町文化の体験を講師を招いて各教室でコース別に体験しました。



写真や映像だけでなく、実際に行き見たり、体験したりすることや働いている方々の生の声を聞くことができることは、教室での授業では学ぶことができない大きな経験です。個々で見たり感じたりすることは子どもたちの成長にとってとても大切なことだと思います。また、体験を通して学んだことを今後の学習に生かして欲しいと思います。

卒業生1日先生の日



9月12日に卒業生1日先生の日として、富丘小学校の卒業生の方から話を聞いています。先輩から人生や仕事などの経験を通して感じたことや学んだことなど様々なお話を聞いております。本年度は、本校卒業生のフジデリーシステム代表取締役の久高拓馬様よりお話を伺いました。

「人と人とのつながり」「命の大切さ」「お金の大切さ」「夢のかなえ方」の四つの構成でお話をいただきました。小学生にもわかりやすく話を進めてくれました。講話の途中、子どもたちが将来の夢を聞かれると、獣医師や宇宙飛行士など自分の夢を堂々と自分の言葉で発表できる場面も見られました。

最後に、代表の児童から「命の大切さについては、食事を取るときは作ってくれる人や様々な感情を持つ生き物の命をいただくことに感謝していきたい」という感想も聞かれました。



3年生歯の健康教室



9/10に3年生は、歯の健康教室を行いました。虫歯のでき方や歯周病等について学んだ後、実際にテスターをつけて自分の歯に残った汚れを、鏡を見ながら確認したあとで、丁寧に自分の歯を磨きました。歯の大切さに気づき、家でもしっかり磨こうと意欲を持つ子もいました。一生付き合っていく歯を大切にしたいと思います。



読書の秋

富丘小学校の10月の生活目標は、「図書室や教室で本をたくさん読もう」です。読書には様々な効果があり、例えば、共感能力の向上、創造力の養成、コミュニケーション能力の向上、語彙の拡大、知識の増加、直接対面しない学び、最適なストレス解消法などがあるそうです。本の文章を読んでいく中で、上手な言い回しや普段自分が使わないような文章に触れることができるため、自然に文章能力が上がります。また、文章能力が上がっていくのと同時に言葉の表現が豊かになるため、相手との会話のキャッチボールで自分が伝えたい内容をしっかり伝えることが可能になります。会話力や文章能力の向上で、大切な友人とのコミュニケーションもより良いものになるそうです。読書の秋です。子供たちには富士宮推薦図書100選や富丘100選を薦めています。様々なことに気を取られず、子供たちと一緒にお気に入りの本に集中して読書をしてみてはいかがでしょうか。また、小さいお子さんには、一緒に絵本などを見て読み聞かせをしながらじっくりコミュニケーションを取ってみるのもいいかもしれません。